

自転車の総合で男子5連覇、女子4連覇を達成した
松山学院―大分県オートボリス(提供写真)



松山学院耐えて総合V

男子5連覇

女子4連覇

全国高校選抜自転車

全国高校選抜大会は29日、各地で行われ、愛媛勢は自転車のロードレースでいずれも松山学院の金井健翔が男子で準優

自転車の総合で松山学院が男女で連続優勝を伸ばした。最終日のロードレースでもそろって表彰台を捉え、ほぼ全種目でポイントを獲得。総合力を見せつけて男子5連覇、女子4連覇を達成し、主将の金井は「リザーブ3人を含め全員の声で勝ち取った」と声を弾ませた。「みんな僕たちがまた優勝すると思ってる。それが一番嬉しい」。大会前、鮫島浩二監督がこぼした。チームは大きな重圧と闘ってきた。身体的負荷も重なった2月、部内でインフルエンザが流行。調整不足の選手もいた中で、選抜大会だったが、金井は「今できるベストを出せた」と胸を張る。最終日の

種目別優勝わずか1でも

ポイント獲得一丸 結実

ロードレースに、その姿勢は表れた。男子は金井が、10秒以上先行していた有力な逃げ集団に食らいつきメダルを死守。トラック競技で落車に巻き込まれ負傷していた木綿は「総合優勝の使命



感の塊(鮫島監督)のような鬼気迫る走りによって、仲間の盛り上げた。女子の三谷と近田は「めっちゃ粘った(近田)とサバイバルレースで生き残った。今大会での優勝は男子ケイリン1種目。そ

れでも各自が役割を果たし、総合では完勝だった。連覇をうながす責任を力に変え、選手は4位を3位に、3位を2位に押し上げる最後の力を絞り出した。金井が戦いを振り返る。「大会前は大変な

状況で不安もあった。でもサポートを含め、チームで一つのことを目指しているからこそ力を出せたと思う」。安堵(あんど)感が一言一言にじみ出た。(柳生秀人)

●男子ロードレースで準優勝した松山学院の金井健翔●女子ロードレースで2位に入った松山学院の三谷優空(左)
＝いずれも大分県オートボリス(提供写真)

ロード 金井(男子)・三谷(女子)準V 近田(女子)3位

勝し、女子で三谷優空が2位、近田ちひろが3位に入った。松山学院は学校対抗総合で男子5連覇、女子4連覇を飾った。レスリング92kg級では相原大河(愛媛大附)が5位に入った。

◇賞状の成績◇

●自転車●

大分県オートボリス(サキキョウ)

男子個人ロードレース(79)

4位 ②金井健翔(松山学院)

1時間58分10秒 阿部(松山学院) 2時間2分6秒 9秒 木綿(河本風史(松山学院)) 途中棄権

村七(カール(松山学院)) 途中棄権

須賀(須賀(松山学院)) 途中棄権

女子個人ロードレース(37)

3位 ②三谷優空(松山学院)

1時間6分5秒 9秒 近田ちひろ(松山学院) 1時間6分6秒 7秒

江崎結衣(松山学院) 1時間6分36秒 8秒 三谷優空(松山学院) 途中棄権

レスリング:

新潟市東区(SC)

▽51kg級3回戦

Tスペース

池田(池田) テイオリ

星(京都市) 1分18秒

川本(善太郎(今治西))

▽92kg級3回戦

Tスペース

相原大河(愛媛大附) テイオリ

箱石(鹿島学院)

▽女子団体3回戦

(名古屋日本ガイシホール)

吉田(吉田) 7-0

佐賀(佐賀) 7-0

相原大河(愛媛大附)

ソートメス:

吉大 多(多) 京(京都) 2-0

多(多) 鹿(鹿) 4-3

安武(安武) 4-0

原(原) 4-0

愛(愛) 2-0

感(感) 2-0

原(原) 4-0